

事業テーマ：少量多品種パイプ製品の高付加価値化及び測定の確立とIoT活用

事業者名：株式会社湘南テクノ 事業年度：平成27年度

Case

2

ものづくり技術

企業概要



半導体、液晶、太陽電池等製造装置用ガス供給装置や除外装置の設計、製造を行っています。今までに培ったノウハウを独自の現場主義教育システムに反映させ、合理化を徹底的に訴求する事で、製品に機能を備えた美を披露しつづけている。創業以来、世界基準を満たすクオリティーを追求し更なる技術の革新を追求し続けている。

🏢 株式会社湘南テクノ

👤 代表取締役 大和田貢

📅 1993年6月

📍 〒243-0801
厚木市上依知
580-1

👥 48人

💰 1,000万円

☎ 046-245-9700

🏭 金属製品製造業

▶▶ WEBサイト



取材の現場から

「新製品で事業は大きく立ち上がったが、さらなる成長にはもっと認知を広げる必要がある」と大和田専務は話す。取引先に採用されるには長い時間がかかるため営業面と生産面での連携が重要となる。当社は、専務が営業中心に事業を統括しつつ、生産管理面はリーダー社員が担い、連携体制が構築されている。組織体制も強みに、事業拡大が続いている。



3次元測定器で強化された検査工程



左上/社内プロバスケットチーム プレミアリーグに出場する実力を持つ 右上/配管設備(展示用) 右下/専務取締役の大和田 学氏 左下/事業拡大で第二工場を新設

製品採用まで2年

大手メーカーとの取引実現に向けては設備の刷新だけではなく、ISOを取得して社内の品質管理プロセスも変革しました。勤続年数の長い職人からは煩雑さへの反発もありましたが、社長が職人と向き合い、半導体業界の最前線を目指す意義を伝え社内協力を得ました。製品は確実にランクアップしましたが営業は簡単ではありません。顧客との商談は2年続きようやく採用されました。現在、半導体業界は世界的な品不足もあり増産要請がとても高くなっています。慎重に投資判断はしますが、納品スピードを高めるため、部分的に外注している工程を内製化し、社内一貫製造体制を実現すべく、次の一手を考えています。

圧倒的競争力を求めて

当社は半導体製造装置用のガス供給装置の製造を行なっています。補助事業では、超純水洗浄ラインと3次元測定機を導入して、製品の高精度化を実現しました。設備投資を決断した背景には、年々顧客から要求が高まる品質の向上です。半導体製造装置向けの配管は、高精度であることはもちろん、近年は「クリーン度」が求められていました。これまでは、ノギス、マイクロメーター等の測定器や、クリーン度は超音波洗浄機を使っていたいましたが、人的な作業で時間がかかること、最終検査工程がボトルネックとなり、納品スピードが遅くなっていました。高額な投資には悩みましたが、同業他社との差別化、大手メーカーとの取引を実現するため決断しました。これにより、配管を取り扱う工場でも超純水洗浄装置を備える企業は少ないことから、高純度クリーン配管として取扱製品の競争力が高まりました。また、3次元測定機で加工品の検査結果を提示できるようになり、当社に一定の技術力

半導体製造装置向けのガス供給用配管の高付加価値化のため、超純水洗浄ラインと3次元測定器を導入した。これにより配管製品の競争力が大きく向上し、大手半導体メーカーとの取引を実現し、さらなる高品質な製品提供依頼を受けている。

半導体製造装置向け、高品質配管製品の開発